



「高齢者の安全分野」の目標と取組

【目標】

転倒や窒息による不慮の事故の減少

【取組】

- ・転倒予防教室の実施
- ・住環境の改善
- ・口腔機能低下予防教室の実施



【目標】

虐待や認知症への啓発・理解の促進

【取組】

- ・認知症に関する意識啓発
- ・高齢者世帯への見守り活動



データで見る！転倒による事故けがの状況

2023年度に鹿児島市内で不慮の事故やけが（転倒や転落、交通事故等）により救急搬送された高齢者4,207人のうち、転倒で搬送された方は2,869人で約7割を占めています。また、そのうち1,622人（約6割）が住宅で転倒しており、住み慣れた環境での発生が多いことがわかります。

【高齢者の不慮の事故における救急搬送（市内、2023年度）】

事故種別	人数	割合	⇒ うち	場所	人数	割合
転倒	2,869	68.2%	住宅	住宅	1,622	56.5%
交通事故	486	11.6%		公衆	664	23.1%
転落	323	7.7%		道路	561	19.6%
誤飲・誤嚥・窒息	117	2.8%		その他	22	0.8%
その他	412	9.8%		合計	2,869	-
合計	4,207	-				

地域・校区での活動事例

長寿支援課では、下記の活動事例のような転倒予防教室や口腔機能低下予防教室の開催支援を行っております！交通安全教室との同時開催も可能です！詳しくは長寿支援課 ☎216-1267 もしくは、安心安全課 ☎216-1209 までお気軽にお問い合わせください！



温泉講座とコラボしての転倒予防教室です。地域の活動にあまり参加できない方にも啓発することができました。

交通安全教室と口腔機能低下予防教室を同時に開催しました。一度に幅広い内容を学ぶことができます！



第15回セーフコミュニティ推進フォーラムを開催しました！

10月19日(土)に第20回鹿児島市安心安全まちづくり市民大会において、第15回セーフコミュニティ推進フォーラムを開催しました。

今回は、重点7分野のうち「子どもの安全分野」を取り上げ、主に家庭内での子どもの事故防止について講演会を行いました。

- ★演題：子どもの安全 Equity のためのセーフコミュニティ
- ★講師：NPO 法人 Safe Kids Japan 理事 大野 美喜子 氏

